

3 次世代エネルギー産業の創出・育成<新産業・エネルギー振興課>

(1) 次世代住宅関連産業の育成支援

令和2年度に改正された(5月17日公布)新築住宅への「建築物エネルギー消費性能基準」の適合義務化への対応や、「ゼロエネルギーハウス」の普及につながる省エネルギー住宅設計に関して、県内の設計事務所や工務店等の知識・技術力向上を目的に、建築実務者向けの次世代住宅に関する研修を実施した。

(2) 次世代エネルギー産業の創出

太陽光発電や小水力発電などの再生可能エネルギー、住宅の断熱化などの省エネ対策、蓄電池による蓄エネ技術など、次世代エネルギーへの関心が高まっている。このような状況の中、県内企業が次世代エネルギー産業に参画できるよう、産学官連携により次世代エネルギー技術の開発、製品化を促進させることを目的に、平成26年9月に「岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアム」を設立した。

令和元年度は、講習会等の開催(先進事例見学会1回、セミナー1回、エネルギー関係展示会出展支援2回(メッセナゴヤ2019、ENE X2020)や、次世代エネルギー産業に関する研究開発等を行うワーキンググループ活動に対して支援(7グループに補助金交付)を行った。

第4節 一人ひとりが実践できる取組みの浸透

1 「クールビズ・ウォームビズ」「クールシェア・ウォームシェア」の普及促進<環境管理課>

(1) ぎふ清流クールビズの取組みの推進

夏のエコスタイルキャンペーンとして、クールビズ等と呼びかけ省エネルギー型ライフスタイルを推進した。本県職員においては、上着非着用、ノーネクタイの軽装に加え、ポロシャツ、チノパン、スニーカー等も着用可とする「ぎふ清流クールビズ」に取組んだ。

(2) ウォームビズの推進

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量の削減のため、過度な暖房使用を控えながらも快適に過ごす「ウォームビズ」の実践を呼び掛け、室温20℃を目処に適切な暖房機器の使用を推奨した。

(3) クールシェア・ウォームシェアの普及促進

家庭から排出される温室効果ガスの削減対策の一環として、県民の方が夏の昼間の時間帯に涼しく快適に過ごしていただける施設や場所(クールシェアスポット)を募集・登録し、その利用を促すことで節電・省エネを図る取組み「クールシェア」を、県民の方が寒い冬に温かく快適に過ごしていただける施設や場所(ウォームシェアスポット)を募集・登録し、その利用を促すことで節電・省エネを図る取組み「ウォームシェア」を実施した。

2 「見える化」による家庭での取組みの推進<環境管理課>

(1) うちエコ診断の実施

家庭から排出される二酸化炭素の削減対策として「うちエコ診断」の受診を実施している。「うちエコ診断」とは、環境省の制度で、資格を持ったうちエコ診断士が受診家庭とのコミュニケーションを通じて、家庭の二酸化炭素排出削減対策を提案するもので、令和元年度は一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センターにおいて7件の受診を行った。